

平成 27 年度 有馬幼稚園 外部評価報告書

評価委員：中野耕祐・眞野好雄・宮崎弘次・志村栄一・矢川春文・坂野泰士・中多宏之
森 功次・寶山博紀

評価時期 平成 28 年 2 月

1 重点目標の評価

【重点目標 1 について】

- あいさつは、親子、家庭と学校が同じ目線で行っていくことが大切であると保護者会で伝えていってほしい。
- あいさつについても、学校だけの指導ではなく、家庭、地域を取り込んで全体で指導していくことが大切である。
- あいさつが身につけていない事は、子どもの原因としては、控えめ、恥ずかしがりな子という
とらえもできる。あいさつが十分でない子どもとひとくくりでとらえないようにしてほしい。
- あいさつの件では、大人社会の影響も要因としてあげられる。大人が家庭でもあいさつをして
いくことも大切である。
- あいさつを身につけることは、コミュニケーション力を高めて、人とのかかわる力をつけるこ
とになる。幼小連携して様々な取り組みをしていることは大切である。
- 青少年委員会で実施した東根市との交流活動の中でも、中央区の子はあいさつを自分からでき
ない姿が見られた。恥ずかしがりという面もあると考えられるが、人とのかかわりを多くもて
る機会を意図的に作ってほしい。大人が進んであいさつをする姿が大切である。
- あいさつは家庭での取り組みが大事、地域でも声を掛け合う。プレディでも行うなど、学校の
取り組みを、家庭、地域が共有しあっていく、発信など様々な工夫をしていくことが大切であ
る。
- 自分からあいさつをして褒められる成功体験が大切である。
- 70周年記念式典、記念行事、無事に終わり良かった。子どもたちも様々な体験ができよかった。

【重点目標 2 について】

- 自然物を積極的に教育活動に取り入れていることは、とても良い。これからも、有馬の池で育
ったカエルを大事に育てていってほしい。

【重点目標 3 について】

- 幼稚園と小学校の交流が様々な場面で見られとても良い。今後も取り組んでいってほし
い。
- 幼稚園の新園舎増築に伴い、園庭がなくなり、体を動かす場所がなくなってしまっている。幼
稚園の時期は、体を動かすことがとても大切である、幼小連携して、遊びの場、スペースを確
保していってほしい。

2 その他の意見

- 回収率が高く、保護者の意識の高さを感じる。
- パラリンピックは、特に、子どもたちにとっての教育効果が大きい。今後も、学校教育の中に
取り入れていってほしい。

